

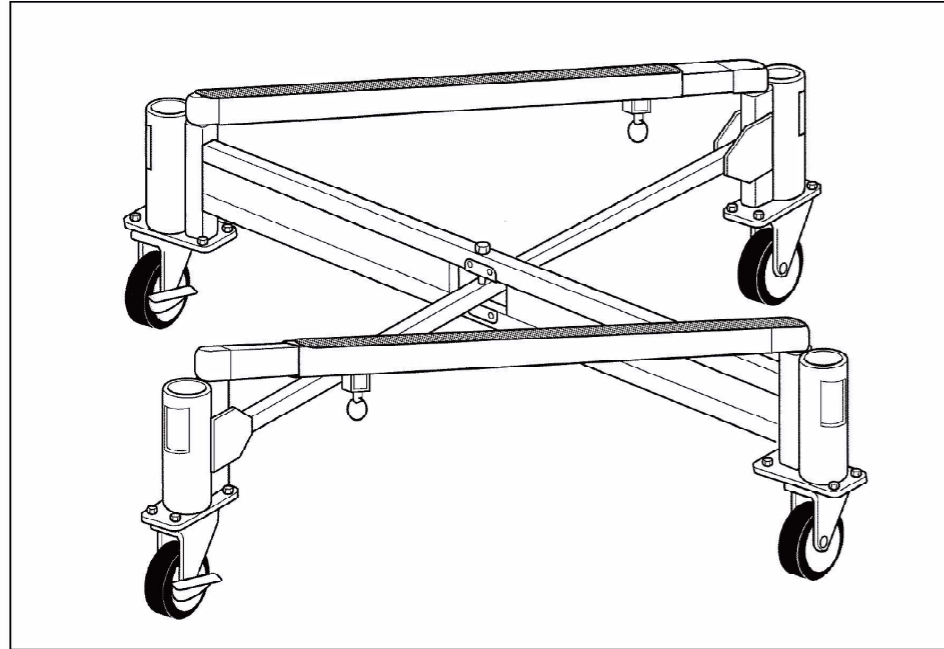
取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう内容にしっかりとご注意ください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。



表示マークについて

取扱説明書や製品ラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

△注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

このマークは、禁止(してはいけないこと)を示します。

このマークは、強制(必ずすること)を示します。

このマークは、強制(必ずすること)を示します。



●フレームカートは、正しく使われていないと荷崩れや破損の危険があります。お使いになるときは、荷物の安定した状態を確認してください。

●使用時及び移動時は平らな場所で二人以上で行なってください。

●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

〈絵表示について〉

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを注意しています。



可動部や回転部などで手をささむ恐れがあることを注意しています。

安全作業のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。なお、本書では「フレームカート」を「台車」と表現しています。

1. 使用条件について

△警告 この製品は、最大積載質量の範囲内で使用してください。

荷物の合計質量が、最大積載質量を超えるときは使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

△警告 台車としての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、荷物を運搬するための用途として作られた「台車」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、荷崩れや転倒による重大な事故の恐れがあります。

△警告 フレームカートを加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

△注意 作業に適した服装で使ってください。

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

△注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

△注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
 - 葉やお酒を飲んだとき
 - 病気や妊娠しているとき
 - 身体に異常を感じるとき
- 身体のバランスが保てず、荷崩れや暴走の恐れがあります。

△注意 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

△注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うよう指導してください。

2. ご使用になる前に

△警告 使う前には、必ず「取扱説明書」のとおり台車を使用状態にしてください。

正しくセットされていないと、製品が伸縮して、重大な事故につながる恐れがあります。

△警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

△警告 変形した台車を使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶとき

△注意 折りたたんで持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

△注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて荷崩れや、製品が破損する恐れがあります。

4. 使用する場所について

△危険 使用するときや持ち運びするときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

△警告 台車が安定しない場所では、使用しないでください。

使用場所が下記の状態では、台車が安定せず荷崩れしたり、台車に無理な力がかかって製品の破損の恐れがあります。

- 柔らかい地面で、台車が安定しない場所。
- 段差があったり、凸凹がある場所。
- 台車がガタツク場所。
- 傾斜している地面。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

△警告 傾斜地で台車を放置しないでください。

台車が勝手に動き出し、重大な事故につながる恐れがあります。

△注意 屋外や水のかかる場所で使用しないでください。

製品が腐食し、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。

△注意 火気の近くに置かないでください。

やけどや火災の原因になります。

△注意 足元や周囲がはっきり見えないう暗がりでは、使用しないでください。

大きな段差に衝突したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、重大な事故につながる恐れがあります。

5. 台車を使用するとき

△警告 人を乗せないでください。

転倒や転落する恐れがあります。

△警告 車などで牽引しないでください。

荷崩れや重大な事故につながる恐れがありますので、絶対に行わないでください。

△警告 偏った荷積みをしてしないでください。

荷崩れしたり、台車が転倒する恐れがあります。

△警告 バランスを保てないほど荷物を積み上げないでください。

荷崩れしたり、台車が転倒する恐れがあります。

△警告 スライド材(荷台部)に衝撃を加える載せ方をしないでください。

荷物の重さ以上の力が加わり、製品が破損する恐れがあります。

△警告 運搬中は周囲の人に近づきすぎないように注意してください。

特に前方を歩行中の人に近づきすぎると衝突したりして重大な事故の原因になります。

△警告 可動部や回転部で、手をささないように注意してください。

けがをする恐れがあります。

△注意 スライド部を無理な力で操作しないでください。

変型や破損の原因になります。

△注意 キャスターに横方向から力が加わる使いかたをしないでください。

キャスターが破損して、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。

△注意 移動時は荷台部を持って二人以上で行なってください。

台車に異常な力が加わり、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。

△注意 荷台に濡れたものを載せないでください。

製品が腐食し、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。

△注意 壊れやすいもの、危険物、薬品等は運搬しないでください。

荷物が破損したり、健康を害したり、重大な事故につながる恐れがあります。

△注意 無理に段差を乗り越えないでください。

台車に異常な力が加わり、荷崩れや製品が破損する恐れがあります。

△注意 荷積みしたまま台車を離れるときは、平坦な場所でキャスターのブレーキをかけてください。

台車が勝手に動き出し、重大な事故につながる恐れがあります。

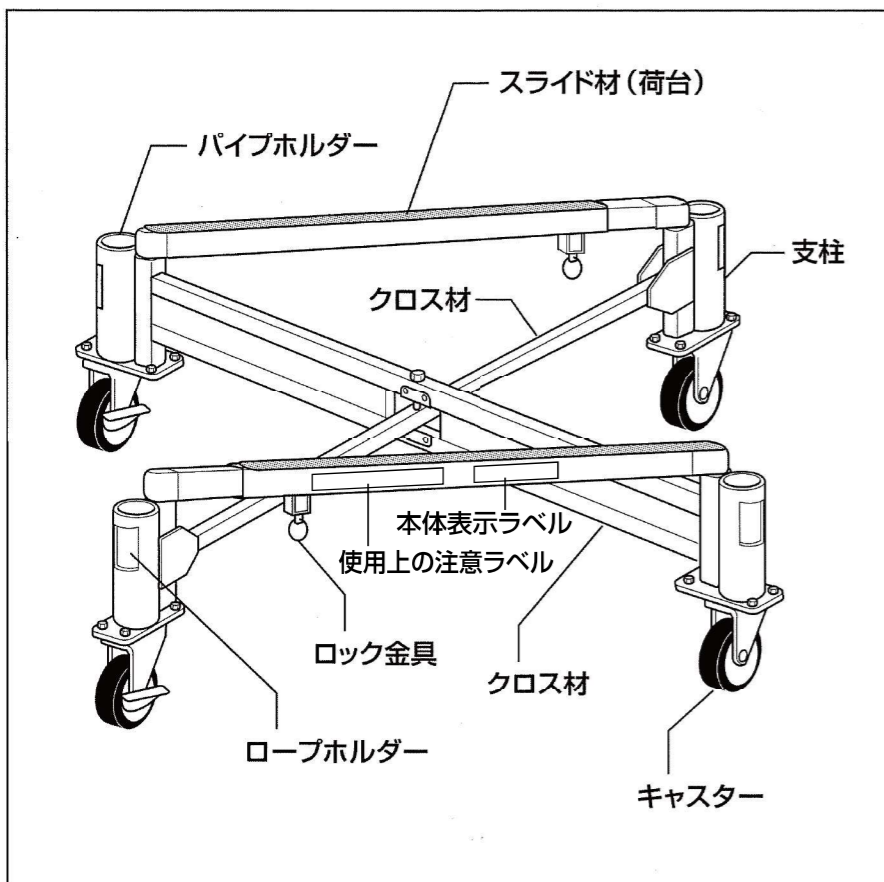
△注意 壁や障害物にぶつけないように注意してください。

台車に異常な力が加わり、荷崩れしたり、製品が破損する恐れがあります。

△注意 二台の台車の間に板をかけて使用しないでください。

荷物が崩れたり、台車が転倒する恐れがあります。

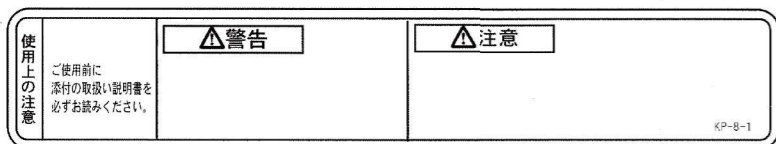
各部のなまえ



ラベルの名前



本体表示ラベル



使用上の注意ラベル(ラベルナンバー: KP-8-〇)

※ラベルの右下に記載されている数字はラベルのナンバーです。ラベルを取り寄せるときは、このナンバーをご連絡ください。

ご使用前の点検

台車をお使いになる前には、下記の点検を行ない、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、下記の点検をしてください。

- ① 荷台部にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
- ② 支柱やスライド材、クロス材などの各部に曲がり・ネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ③ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

- ④ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ⑤ キャスターの車輪がすり減ったり、外れたりしていませんか。すり減ったり、外れたりしている場合は、絶対に使わないでください。必ずご購入の販売店までご相談いただき、新しいキャスターと交換してください。

2. スライド材(荷台部)を動かして、下記の点検をしてください。

- ① スライド材に泥やセメント・ごみ・ペンキなどの異物が付着していないか点検し、あれば取り除いてください。取り除けない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

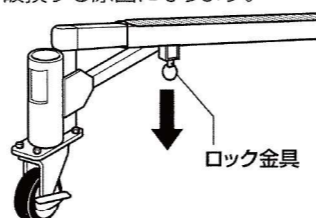
台車の使いかた

1. 使用場所について

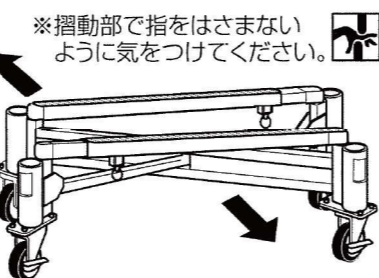
- 平坦で安定した場所、滑りにくい地面や床、傾斜していない場所、またキャスターが埋もれない場所を選んで使用してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所で使用してください。
- 台車の周囲に危険なものや火気がない場所で使用してください。

2. 使いかた

- ① 本体を水平な床面に仮置きします。
- ② ロック金具のリングに指を掛け、下向きに引っ張ります。
※強く引っ張りすぎるとロック金具やリングが破損する原因になります。



- ③ ロック金具のリングを下向きに引っ張った状態のまま少しスライド材を広げ、あとはロック金具のリングから指をはなしてそのまま『カチッ』と音がするまでスライド材を広げます。伸縮は収納状態1段階と使用状態4段階の合計5段階のロックがかかります。

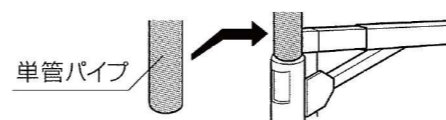


※摺動部で指をはさまないように気をつけてください。

- ④ ロックがしっかりかかっているか確認します。
- ⑤ 荷台(スライド材部分が荷台になります)に荷物を載せる。
- ⑥ 小物を載せる場合は、荷台にコンパネ等の合板を載せてから荷物を載せると便利です。※この場合、合板の重量と荷物の重量が最大使用質量を超えないように気をつけてください。
- ⑦ 長尺物等を載せる場合は、そのまま載せてください。※この場合、偏った荷積みやバランスを保てない積み方をしないでください。

3. バイプホルダーの使いかた

★簡易の荷崩れ防止になります。四隅についているバイプホルダーに単管パイプ(φ48.6:長さ1m以下)を挿入します。オプションパーツ・アルミパイプセット(2本/組)のご利用が便利です。



4. ロープホルダーの使いかた

★荷物の固定などにご使用いただけます。四隅についているロープホルダーにロープを通します。



5. バイプホルダー及びロープホルダー使用上のご注意

警告 単管パイプは指定の長さ以上のものを使用しないでください。



台車に異常な力が加わり、製品が破損する恐れがあります。持つ部分の高さは腰の高さが目安です。

警告 ロープを用いて台車を車やリフト等で牽引しないでください。



牽引により、台車が暴走し重大な事故につながる恐れがあります。また台車に異常な力が加わり、荷崩れや製品が破損する恐れがあります。

警告 急激な動作を行わないでください。



台車に異常な力が加わり、荷崩れや製品が破損する恐れがあります。また、荷物が倒れたり、台車が転倒する恐れがあります。

4. ボルト類は、ゆるんでいないか定期的に点検してください。

- ① 定期的ゆるんでいないか点検し、ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。

3. 下記の箇所を触って点検をしてください。

- ① 各部の接合部をねじってみて、ガタガタしないか点検してください。ガタガタしている場合は絶対に使わないで廃棄してください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

台車にとって泥・泥水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

- ① 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ② 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③ 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

① 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。

② 台車が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

故障かな?と思ったら(不調診断)

〈現象〉 ●使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
リベット・ボルト・ねじなどにゆるみや抜け落ちはありませんか。	ゆるみがある場合は、ボルト・ねじは増し締めを行い、それ以外は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉 ●大きくガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
支柱やスライド材、クロス材に曲がりやヘコミなどの変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉 ●収納できない(伸縮できない)。
●クロス材が開閉しない。

点検する箇所	処置のしかた
スライド材に曲がりや変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
スライド材に異物が付着していませんか。	ある場合は、異物を取り除き、スライド材に潤滑油を少量注油してください。それでも動きが悪い場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉 ●スライドのロックができない。

点検する箇所	処置のしかた
ロック金具がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、注油してください。機能が損なわれるような著しいサビがある場合は、使わないで廃棄してください。

●製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直しても本体や金具の破損が起こり、荷崩れなどによる重大な事故の原因になります。

ピカコーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。